

定例記者会見市長挨拶

令和8年6月3日(水)午後2時
庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

先日、本市の市立小学校に通う児童の尊い命が失われるという、大変痛ましく、悲しい事件が起きました。

亡くなられた児童に、深い哀悼の意を捧げます。

本市としましては、捜査機関による捜査が進む中で、事実が判明していくものと認識しております。

これまでも、市と学校を含め、全庁横断的に連携してきたところですが、今後も支援体制のさらなる充実に努めてまいります。

次に、台風6号への対応です。

本市では、本日午前6時から、市内10か所で早期開設避難所を開設して対応してまいりましたが、避難者が帰宅されたため、午後2時をもって閉鎖いたしました。

なお、正午現在では、冠水2か所、倒木2か所の被害が出ておりましたが、現在は対応が完了しております。また、大栄公民館に3人の方が避難されておりましたが、既に帰宅されております。

台風本体が通り過ぎた後も、大雨や河川の増水、土砂災害などが続くこともあることから、引き続き情報収集等を適切に行ってまいります。

次に、本市では、こども・若者に意見表明の機会や社会的活動に参画する機会を確保し、その意見を市の施策などに反映することを目的として、令和7年度に「こども未来政策委員会」を設置しております。本年度も先月26日に「令和8年度第1回成田市こども未来政策委員会」を開催し、公募による委員18名に私から委嘱状を交付いたしました。今後、本市をより良いまちにするための施策について話し合い、市に事業の提案を行っていただく予定です。

次に、市役所の窓口サービスについてであります。前回の会見でもご説明しましたとおり、7月から窓口受付時間と休日開庁日を見直します。窓口受付時間は、電話対応を含めて午前9時から午後4時30分までとなります。対象は、成田消防署を除く市役所本庁舎、下総・大栄支所、市民課赤坂分室・遠山分室、保健福祉館、水道庁舎です。また、休日開庁日は、毎月第2・第4日曜日となりますが、転出入の手続きが多い3月については、当面の間、毎週開庁します。今回の見直しにより、職員の働き方改革を進めるとともに、政策立案やDXを推進するための時間を確保し、市民サービスのさらなる向上につなげてまいります。市民の皆様には、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

次に、母子手帳アプリ「なりぴよダイアリー」についてです。7月から、妊娠届出の事前申請と、母子健康手帳の交付を受ける日にちを予約できるように、アプリ機能を追加いたします。

また、赤ちゃん相談や乳幼児健診について、デジタル問診票サービス

を4月から開始しております。赤ちゃん相談や乳幼児健診時における問診票の入力を「なりぴよダイアリー」から行えるようになり、相談や健診結果につきましても、いつでも確認できるようになりました。今後も、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うため、デジタルを活用したサービスの充実を進めてまいります。

次に、この後説明させていただきますが、本定例会の補正予算で、物価高騰対策として、水道料金の減免について計上しております。なお、7月から配信を開始する「成田市上下水道アプリ」を11月30日までに登録いただいた場合、水道料金の減免期間を2か月延長いたします。

また、このアプリでは、過去2年分までの上下水道料金や使用水量などが確認できます。さらに、アプリからPAYPAYによるオンライン決済ができるほか、上下水道に関するお知らせなどを受け取ることもできますので、多くの方に活用していただきたいと思っております。

6月議会に提案を予定しております議案の詳細につきましては、「総務部長」並びに「財政部長」より説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日の定例記者会見に当たっての挨拶とさせていただきます。